

個別施設計画

策定年月	H30.1
------	-------

施設名	津山高等学校・津山中学校		所在地	津山市椿高下62番		
敷地面積	46,566.78 m ²		棟数	47 棟 (計画記載対象 17 棟)		
延床面積	18,214.40 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校及び中学校教育のため					
【想定される自然災害】						
予想震度 5弱 津波 - 浸水 -						
建築規制	第二種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2016年度)	電気 504,531 kwh	ガス 61,464 m ³	水道 7,540 m ³	燃料(灯油) 1,987 0	※津山中分を含む。	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 津山市避難所 協定による避難所					

1 施設内建物の概況

名称	旧本館(玄関共)棟(1棟)	旧本館(増築分)棟(2棟)	文化部室及び倉庫棟(49棟)
築年(西暦)	1900年	1935年	1961年
構造	木造 2階	木造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	514.85 m ²	145.87 m ²	249.17 m ²
延床面積	1,010.71 m ²	284.71 m ²	485.80 m ²
主要な用途(室名等)	資料室	資料館	書庫
主要な設備(屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	
利用状況	高	高	—
耐震性 ※1	重要文化財のため適用除外	重要文化財のため適用除外	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況(劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	屋根 外壁	H29.8 取り壊し

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	記念館棟(83棟)33	百周年記念館ホール棟(117棟)59	玄関・教室棟(119棟)47
築年(西暦)	1974年	1996年	1996年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	329.77 m ²	701.79 m ²	778.74 m ²
延床面積	488.46 m ²	882.89 m ²	1887.96 m ²
主要な用途 (室名等)	音楽教室 技術教室 購買	ホール	普通教室 コモンホール
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	—	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	—
	中性化 ※3	適	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(120棟)48	教室棟(121棟)49	管理(1工区)棟(122棟)50
築年(西暦)	1996年	1996年	1998年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	962.97 m ²	206.02 m ²	608.68 m ²
延床面積	3,735.88 m ²	428.96 m ²	2119.76 m ²
主要な用途 (室名等)	図書室 書道教室 保健室	情報教室 講義室	校長室 事務室 教務職員室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	—	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機(小荷物用)
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	北(2工区)棟(123棟)51	階段室(3工区)棟(124棟)52	部室棟(129棟)54
築年(西暦)	1998年	1998年	2003年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 2階
建築面積	199.42 m ²	86.11 m ²	121.00 m ²
延床面積	961.13 m ²	543.82 m ²	242.00 m ²
主要な用途 (室名等)	放送室 更衣室 普通教室	普通教室 講義室	部室
主要な設備 (屋外を含む)	—	—	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	体育館棟(133棟)55	武道場棟(136棟)56	寄宿舍棟(103棟)42
築年(西暦)	2004年	2004年	1994年
構造	鉄骨造2階	鉄骨造2階	木造2階
建築面積	1,494.66 m ²	258.12 m ²	161.48 m ²
延床面積	1,711.78 m ²	710.61 m ²	268.54 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	柔道場 剣道場	女子寮
主要な設備 (屋外を含む)	消火設備	—	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	寄宿舎棟(91棟)36	中学校体育館棟	
築年(西暦)	1982年	2018年	年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	木造 2階	造階
建築面積	261.25 m ²	988.00 m ²	m ²
延床面積	597.25 m ²	988.00 m ²	m ²
主要な用途 (室名等)	男子寮		
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	建築中	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
旧本館(玄関共)棟(1棟)	設備等の定期更新を行う。
旧本館(増築分)棟(2棟)	設備等の定期更新を行う。
文化部室及び倉庫棟(49棟)	平成29(2017)年度に取壊し済。
記念館棟(83棟)33	長寿命化改修を行う。
百周年記念館ホール棟(117棟)59	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
玄関・教室棟(119棟)47	設備等の定期更新を行う。更新及びエレベーター設置に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
特別教室棟(120棟)48	設備等の定期更新を行う。
教室棟(121棟)49	設備等の定期更新を行う。
管理(1工区)棟(122棟)50	設備等の定期更新を行う。
北(2工区)棟(123棟)51	設備等の定期更新を行う。
階段室(3工区)棟(124棟)52	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
部室棟(129棟)54	予防保全を図る。
体育館棟(133棟)55	予防保全を図る。
武道場棟(136棟)56	予防保全を図る。
寄宿舎棟(103棟)42	設備等の定期更新を行う。
寄宿舎棟(91棟)36	長寿命化改修を行う。
中学校体育館棟	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(83棟)2018年度設計、2019年度から施工
(91棟)2020年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
旧本館(玄関共)棟(1棟)	設備等の定期更新			外壁改修							
旧本館(増築分)棟(2棟)	設備等の定期更新			外壁改修							
文化部室及び倉庫棟(49棟)	取壊し	取壊									
記念館棟(83棟)33	長寿命化改修		設計	施工 2							
百周年記念館ホール棟(117棟)59	設備等の定期更新			トイレ洋式化							
玄関・教室棟(119棟)47	設備等の定期更新			トイレ洋式化	屋上防水・外壁改修 自動火災報知設備 エレベーター新設						
特別教室棟(120棟)48	設備等の定期更新				外壁改修 自動火災報知設備 エアコン						
教室棟(121棟)49	設備等の定期更新				外壁改修						
管理(1工区)棟(122棟)50	設備等の定期更新						外壁改修				
北(2工区)棟(123棟)51	設備等の定期更新							外壁改修			
階段室(3工区)棟(124棟)52	設備等の定期更新			トイレ洋式化				外壁改修			
部室棟(129棟)54	予防保全	予防保全を図る。									
体育館棟(133棟)55	予防保全	予防保全を図る。									
武道場棟(136棟)56	予防保全	予防保全を図る。									
寄宿舍棟(103棟)42	設備等の定期更新			外壁改修							

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
寄宿舎棟(91棟)36	長寿命化改修				設計・施工 1						
中学校体育館棟	予防保全	新築 5	予防保全を図る。								

4. 概算費用

・総額 10億円(長寿命化改修等 8億円、設備等更新 2億円)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	百周年記念館ホール棟(117棟)、玄関・教室棟(119棟)及び階段室(3工区)棟(124棟)において、設備等の定期更新を追加